



## 村尾 和俊

MURAO Kazutoshi

西日本電信電話相談役  
関経連副会長

# 今こそ、 持続的成長の礎を築く



私は、生まれは兵庫県、大学は京都府で、勤務地も最近では関西エリアが多く、京都に勤めている時は、京都・関西のさまざまな伝統文化・芸術を学ぶ機会をいただきました。とあるきっかけで三味線を始めたことから、社外の皆さまから「三味線支店長」と呼ばれたこともありました。このようなことから、関西には大変強い思い入れがあります。微力ながら、少しでも関西に恩返しがしたいと思い、今回、副会長の任を引き受けさせていただくこととなりました。

さて、関西は現在、好調なインバウンドにけん引され、景気も緩やかな回復傾向にあります。このフォローの風が強い今こそ、将来の持続的な成長につながる基盤を構築しておくべきだと考えています。

例えば、MICE・IRの誘致について言いますと、現在はカジノのみに注目が集まりがちですが、めざしているのは、国際会議場や国際展示場、さらには映画館・劇場、スポーツ施設等を備えた、カジノを含む統合型の一大リゾートの開発です。特に国際会議場・展示場については、シンガポールや香港に匹敵するような、超大型の会議場や展示場を整備し、国際的な産業イベントや研究学会等を誘致することで、国内外の「知」や「情報」の交流が促進される仕掛けをするべきだと思います。それにより、集客による直接的な経済効果が見込まれるだけでなく、ビジネスイノベーションの機会が創出され、都市の競争力向上にもつながる、中長期的な価値も創造することができるでしょう。

また、それらの波及効果を高めるためには、インフラの整備も欠かせません。夢洲を基点とし、関西の活力を瀬戸内エリアまで広く波及させ、相乗効果を生み出すためには、陸・海・空の各種インフラを広域的に俯瞰し、一体的に整備していくべきでしょう。

なお今後、リニア中央新幹線、北陸新幹線、山陽・九州新幹線の結節点となる新大阪駅は、日本の新幹線ネットワークのハブとして、地方と地方をつなぐ中心的な役割を果たすこととなります。これにより、さらに国内外の優秀な人材、企業・産業の誘引効果が期待できるでしょう。また観光・産業の振興に向けては、新大阪駅周辺の開発についてもあわせて検討していくべきだと考えています。

MICE・IRの誘致、新大阪駅周辺の開発以外にも、今後、関西には、G20大阪サミット、ワールドマスターズゲームズ2021関西、2025年の国際博覧会等の国際イベントや、うめきた2期、中之島の再開発等、地域活性化につながるビッグプロジェクトが目白押しです。

IoT、AI等の最先端技術を街や社会に実装し、さまざまな社会課題を解決する姿を、こうした機会を通じて世界に発信していくべきです。

わが国は欧米に比べ、最先端技術の活用による新サービス創造が遅れているといわれています。しかし、関西に強みがあり世界的にもまだまだテクノロジーとの融合が進んでいない、健康・医療分野や観光分野等を中心に、各分野におけるビジネスモデルチェンジや、データ活用による革新的なサービス創出をはかることによって、逆に国際競争をリードしていくチャンスがあると考えています。

当社でも「さまざまな分野でのICTの活用により、社会の課題解決に貢献するとともに新たな価値を創造し、SDGs\*の実現をめざす」ことを掲げ、社内外のデジタルトランスフォーメーションを推進しています。今後の関西、ひいては日本の発展に少しでも貢献できるよう、イノベーションの推進によって課題を解決し、豊かで活力ある未来、持続可能な社会を作るお手伝いをしていきたいと考えています。(談)

\*持続可能な開発目標